

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

事業名 成人訓練棟解体等整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部労働雇用課職業能力開発係 電話番号：058-272-1111(内3126)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 33,289 千円 (前年度予算額：8,687 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,687	0	0	0	0	0	0	0	8,687
要求額	33,289	0	0	0	0	0	0	29,900	3,389
決定額	31,624	0	0	0	0	0	0	28,400	3,224

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

成人訓練棟は、昭和45年に岐阜県家畜保健所として建設され、その後、昭和57年から平成20年までは国際たくみアカデミーの教室として、近年は書庫等として利用していたが、現在は利用していない。

昭和45年の建設から、50年が経過し、老朽化が進み災害等による倒壊の恐れもあるため、成人訓練棟及び附帯する倉庫の解体を行う。

(2) 事業内容

全体事業費：10,497千円

令和2年度 アスベスト調査 (281千円)

廃棄物処分 (1,529千円)

令和3年度 解体工事実施設計 (3,966千円)

令和4年度 解体工事 (33,289千円)

(3) 県負担・補助率の考え方
県

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事委託料	2,856	工事監理
工事請負費	30,433	解体工事
合計	33,289	

決定額の考え方

過去の類似事例の落札率を勘案し、所要額を計上します

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担
なし

(2) 事業主体及びその妥当性
県有施設の解体のため、県が行う。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 令和2年度は、アスベストの調査及び廃棄物の処分を行う。
 令和3年度に実施設計、令和4年度に解体工事を完了する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名： 定員充足率	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

数値的な指標を設けることは困難であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	アスベスト調査及び廃棄物の処分した後、実施設計を行った。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	築50年が経過し、老朽化が進み、災害等により倒壊する恐れがあるため行う必要がある。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	倒壊の恐れがあることから、解体を行うことは適切な管理にあたり有効。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	解体工事前年に、アスベスト調査及び廃棄物の処分を行うなど、計画的に実施できている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 解体後の跡地利用について、方針を固める必要がある。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 跡地利用について、令和3年度中に方針を固め、今後の計画をたてる。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例：人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
